

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	佐野市家庭教育支援チーム (呼称:チームさの)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	佐野市役所
活動範囲	佐野市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>12</u> 人 家庭教育オピニオンリーダー 7人、元教員 1人、民生委員 2人、 元保育士 2人、学童保育指導員 1人(重複あり)
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()
	【活動内容】 ・「わくわく子育てお出かけ講座」 市で行っている事業で、幼稚園や保育園、小学校等へ出向いて講座でのファシリテーター役を務めています。 ・相談活動 こどもの国(児童福祉施設)で、月1回「マミー広場」の開催時に相談活動を行っています。 ・年に数回支援チーム会議を開催し、講座内容の検討や家庭教育に関する情報交換を実施しています。



活動の成果

- ・就学時健康診断や1日入学の際に、入学前の親の心構えや、入学前に親子でできるようにすることなどについての講座を行いました。
- ・講座の内容は、ファシリテーターが一方向的に話すのではなく、保護者同士が悩みや入学への不安などを話し合うことを中心に行うことができました。
- ・保護者のアンケートからも、「グループでの話し合いの中から、親としての共通の悩みや喜びを感じることができました。」との感想もいただくことができました。

活動において苦労した点や課題

- ・毎年講座申し込みのある学校もあり、活動が定着してきていますが、新しい広がりには欠けていることです。

今後の活動目標

- ・一緒に活動する仲間を増やしたいです。
- ・長年活動を続けているメンバーが多いですが、学校との事前打ち合わせ、担当講師での学習や話し合いなど、準備をきっちりと行っていくことは、当初から目標として大切にしています。

問合せ先

(部署・氏名等)佐野市教育委員会生涯学習課社会教育係
 (TEL)0283-20-3109 (E-mail)syakaikyoiiku@city.sano.lg.jp